

# 第6回議会報告会 報告書



令和元年5月18日(土)午後1時30分～3時30分  
奈良市役所 西棟 3階 議場・大会議室

奈良市議会

## はじめに

奈良市議会では、第6回議会報告会を令和元年5月18日に開催いたしました。

当日お忙しい中、ご参加いただいた皆様に心からお礼申し上げます。

このたび、第6回議会報告会の内容を報告書に取りまとめましたので市民の皆様にご報告させていただきます。

第6回議会報告会の開催内容については、過去の議会報告会の反省点も踏まえ、広報広聴委員会を中心に、議会全体で検討するとともに、議員全員が協力し、資料の準備や会場設営、参加者の会場への誘導など、議会全体として行う報告会として開催いたしました。

内容につきましては、より議会を身近に感じていただき、市民の皆様に興味を持っていただけるよう、毎回検討を重ね、今回は第1部で平成31年度予算案を中心とした3月定例会における議案審査の状況を報告し、続く第2部においては、ワールドカフェ方式のワークショップを開催し、皆様の忌憚のないご意見をいただきました。

また、報告会終了後アンケートにご協力いただき、当日発言できなかった方のご意見もいただきました。

今回頂戴したご意見をこれからの議会運営に活かしていくとともに、次回の議会報告会に反映させていただきます、市民の皆様にとって身近な親しみのある市議会となるよう努めてまいりますので、市民の皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

# I 議会報告会の概要

1. 主 催 奈良市議会

2. 日 時 令和元年5月18日（土） 午後1時30分～午後3時30分

3. 場 所 市役所西棟3階 議場・大会議室

4. 内 容

1) 開会のあいさつ

『第一部 議会報告』

2) 奈良市議会の概要について

3) 平成31年3月定例会の概要について

4) 予算審査等特別委員会の議案審査の概要について

『第二部 ワークショップ』

5) テーマ「みんなで考えよう！奈良市のまちづくり」

6) 閉会のあいさつ

5. 報告会には31人の市民が参加され、他に30人が傍聴されました。第2部のワークショップでは10のテーブルに分かれた参加者の皆様から多くのご意見を頂戴しました。



## Ⅱ ワークショップでの意見の要旨

※各テーブルの主な意見を紹介します。

### テーブル1

- 「みんなで考えよう、奈良市のまちづくり」ということで、身近なところでは、道路が悪い・防犯灯が少ない・夜が危ない。
- 「50年後というテーマ」で、奈良市の50年後に向け、どういうまちづくりにするのか。遡れば、奈良時代のような雰囲気を残したい。今、学生さんが銅板で案内板とかを作っていますが、これなら50年後・100年後もそのまま風化しないで残る。開発も必要だが、原点回帰で、奈良の良さをもっと出す。京都と違う、奈良の良さをもっと出してほしい。
- 都祁に関することでは、高齢化になっており、買い物場所も少ない。都祁の良さを出すべき。工場誘致という考えもあるが、中で変わらないとダメ。もっと、都祁の魅力を発信したら良いと思う。

### テーブル2

- 成長戦略として、観光が大事だと思う。
- 観光においては、古き良き奈良の魅力を出すために静かな環境を守る必要性がある。
- 修学旅行ではゲストハウスなどで修学旅行生をもてなしてはどうか。
- バリアフリーが重要でそれを含めて充実していく必要性がある。
- 企業誘致、人づくりが大切である。
- 地域づくりにおいては、奈良市は公園がなかなか整備されていない。道も少ない。治安においては街灯が少ないので、それらを充実させるべき。
- 道において、ネットワークづくりをどうしていくかを考えたとき、交通渋滞の解消、バスやデマンド交通によって交通の充実を図っていく。
- メインターミナルの駅中心のまちづくりが街の発展、分散型の発展というものを目指

していくにあたっての課題になる。

- 地域の特性を生かした競争があるようなまちづくりの必要性がある。
- 川を中心としたまちづくりという観点から、遊歩道を作るなど、川遊びができるような環境をみんなで作っていく。例えば、ゴミ拾いだとかクリーン大作戦などを展開してはどうか。
- 学びの場としては、学校を中心としたまちづくりの中で小中学生が地域づくりに参画する。経営的観点から、地域づくりの会社を作り、財政的負担も担保したようなまちづくりを実現していく必要性があるのではないか。

### テーブル3

- ハード面で、交通網問題、道路問題、特に西大寺周辺、大和中央道周辺、市内の観光地の渋滞緩和の問題がある。
- 秋篠から45分あれば亀岡まで行けるが、近鉄まで行くのに45分かかる。
- 車いすが自走できない、観光場所も含め、道路、歩道の幅を広くする。観光地として、公共トイレの整備、外国人のおもてなしがもっと必要。
- 路地裏の街灯が暗いので整備することにより、住みやすいまちがつかれるのではないか。
- ソフト面で、女性が就労できる環境をつくるべき。奈良は、産み育てにくいランキングの高い位置にあるので、女性が家庭と仕事の両立ができる仕組みをつくって欲しい。
- 高齢者対策として、移動手段の整備を進めるべき。高齢社会を迎えるにあたって、すべての設備は仮設で良いのでは。必要がなくなれば元に戻す。コンパクトシティにしていけば良いのではないか。
- 来年、総合計画が策定されるが、これまでのようなありきたりではなく、もっと的を絞った議論をして欲しい。

#### テーブル4

- 奈良市の現状を把握するにはどうしたら良いかとの観点から、担当職員に様々な奈良市の現状がわかる資料を作って欲しい。地域ごとのまちづくりを考えて、意見をまとめて欲しい。健康状態など、地域ごとの情報が欲しい。
- 飛鳥地区ではお祭り開催に若い人の意見を取り入れていくことにしている。これにより、お祭りが活性化された。若い人の意見をどんどん取り入れていくことはとても良いことである。反面、交通が不便、JR 平城山駅のバリアフリー化ができていないことが残念である。リニアより奈良市の中でお金を使って欲しい。
- 高層ビル化よりも、景観を残して欲しい。自身が60歳になった時でも今の景観を残して欲しい。古都奈良を守っているのが奈良市である。
- 子供たちが楽しめるまちづくり。
- 女性の活躍が必要。
- 富雄川の景観をよくして欲しい。
- 文化財情報をもっと読みやすくして欲しい。奈良市の観光案内板が古いので、予算が少なくても済む陶板のプレートにしては。
- 地域づくりはまちづくり

#### テーブル5

- 職員の業務委託の結果、市民課が人であふれた。始めたばかりで不慣れなのか、安くするために給料を抑えているのではないか。それでは、市税が減るのでは。
- 西大寺駅周辺は交通量が多い。子どもが多いのに道路が狭くて、自転車に子供を乗せたまま突っ切っていく。危ない。西大寺駅の自由通路ができるが、自転車専用の通路を作ってはどうか。
- 奈良市は道が狭くて、ガタガタしている。交通量が多くても予算が付かないのでは。障がい者だけでなく、高齢者も助かる。バリアフリーは、皆にとって役立つ。

- 外国人観光客用の案内については、英語、中国語、韓国語以外もあったら良いのでは。
- イスラム教徒の対応として、礼拝施設はあるのか。食事やお土産の対応はできているのか。
- 災害時の車椅子の方の避難所の場所を明確にして欲しい。自治会で福祉体験があったが、目隠し体験や車いす体験をして、目隠し体験ではとても怖い思いをした。障がい者、中でも目の見えない方は大変であると感じた。もっと、障がい者を理解し、対策を進めるべき。
- 奈良市のデータでは65歳から70歳が多いが、都祁、月ヶ瀬の交通機関が必要である。交通機関を便利にしないと、車がないと生活できない。
- 若い人の働き場の確保が必要。
- 子育てしやすい場も必要。
- イベントの広報が少ないのではないか。
- 三世代同居がしやすい施策を進めるべき。

#### テーブル6

- 奈良市は観光が大きく占めている。外国人も増えているが、外国人は何を求めて来ているのか。古い都があったり、アクセスが不便なところもあって、逆にそこが味わいがあって良いとか。奈良の鹿とか。しかし、通過点であって滞在型につながっていないのが観光の現状。長期的なビジョンが見えない。
- 大事なものは若者が一緒に楽しめること。高齢者や興味がある人には、昔ながらの神社仏閣観光ツアーで良いが、若者が行きたくなる場所がない。再度、遊園地を作ってはどうか。そこにジャズピアニストとかも発表できるステージもあれば良い。こういうところがあれば、観光面に活かすことができ、発展できるのでは。
- 雇用の面で、企業が働く場所を奈良市内、県内に作れば、まちづくり、雇用に生かしていけるのではないか。奈良は文化財が多いので、文化財を特化して奈良中心で雇用

できるような仕組みを。

- まちづくりについて、自治会は頑張っている、市としてもしっかりした取り組みをして欲しい。
- 若い人がいたいと思う魅力あるまちづくりの中でスポーツ等のイベントも奈良で開催したら、若者にとっても良いのでは。
- 千葉の流山は、まちづくりで、若い人が住みやすくするため、いろんなことをしているので参考にしたらどうか。

#### テーブル7

- 何が課題であるかをピックアップしたところ、「外に出やすいまちにしたい」、「女性の社会進出がもっと楽にできる社会にしたい」、「仕事ができる環境づくりを作りたい」が挙がった。そして、何より、居場所をつくっていかなければならないという課題が出てきた。
- 仕事をリタイヤした後の居場所づくりが必要。この方策として、幸せランキング上位の北陸3県の先進事例を参考にしてみよう。バリアフリー化、サイクリングロード。自転車なら、いろいろなところを回れるので、それを進めたらもっと出易いのではないかな。
- 奈良市では20日ウォークをやっているが、さらに参加者を増やすため、もっとアピールする。多くの方が外へ出て健康の保持ができるのではないかな。
- 行政にして欲しいこととしては、地域住民の意識をもっとしっかりと把握する。施策結果を求めるのではなく、まず、住民のためにどのようなことができるのかを考えて、目的と結果が逆にならないようにする。
- 子ども・大人・高齢者・障がい者、すべての人が世代を超えた交流、居場所づくり、まちづくりをする中で生きがいを見出せるような関係性を保てれば、ハード面、ソフト面関係なく、素晴らしい人生が過ごせるのではないかな。



## テーブル8

- 奈良市は近未来を具体的に示すべき。例えば、観光戦略はここを目指すので市民の皆さんも一緒にやっていきましょうという旗印を掲げて、行政と議会だけで決めるのではなく、市民から直接意見を汲み上げる。そうした積み重ねが、結果としてプラスになるのではないか。
- 具体的に決めたことを幅広く広報すること、地道な努力が、まちづくりにつながる。
- 奈良は自然が多いが、生活の身近なところに子どもの遊び場がない。遊びは、スマホやゲームになっている。悪循環になっているので、変えていかねばならない。

## テーブル9

- 奈良のまちづくりにとって、ものづくりも大事だが、人と人との繋がりとか、人を作っていくことが大切。
- 働く場が少なく、賃金も大阪より少ない。こうしたことの充実が課題である。
- 若い人の起業が課題である。
- 企業誘致をしていくことも、まちづくりにとって課題である。
- 高齢化対策という点でも、奈良市はまだまだ課題が多い。
- 高齢者にとって生活道路の安全や電線の地中化、街灯を増やして通行や運転の安全を守る。費用がかかるので市にとって課題である。
- 一生懸命な職員も多いので、良い面をもっとアピールして欲しい。
- いろいろ課題はあるが、やっぱり奈良が好き。人の温さや、少しおっとりした風土が良い。もっともっと、良いまちにしたい。

## テーブル10

- 国際文化観光都市として誇りを持つ。
- クリーセンターや新斎場をしっかりと作りましょう。
- 課題として少子高齢化、人口減少。幼稚園問題。

- 地域の課題としては、二名では地域自治協議会をどうやって進めていくか。民生委員の担い手がなく、将来どうしていくか。
- 西大寺駅周辺の街灯が少なく暗い。防犯上大丈夫なのか。
- 西大寺駅周辺は利用者が多く交通の便も良いので、ホテルが出来て、地域のお祭りもあつたらもっと盛り上がるのではないか。
- 観光について、外国人観光客の対応で一つは災害時どうするのか、奈良市は災害対応マニュアルをどうするのか。避難所の整備をちゃんとやるべき。もう一つは多言語対応で、英語、中国語、韓国語以外の広い多言語対応が必要。
- 自然と環境、例えば、秋篠川をもっと生き物の住む、子供が遊べるような河川にしたい。能登川にホタルを放つイベントがあるが、地元の川を活性化して地域の潤いにすればどうか。
- 自分たちのまち自分たちで作るんだという取り組み、ぜひボランティアでまちづくりを。ただし、ボランティアではまとめ役、しっかりした組織が必要。例えば、夏祭りが若い人の協力で盛り上がった。若い人もちゃんと要請があれば、喜んで参加・協力する。

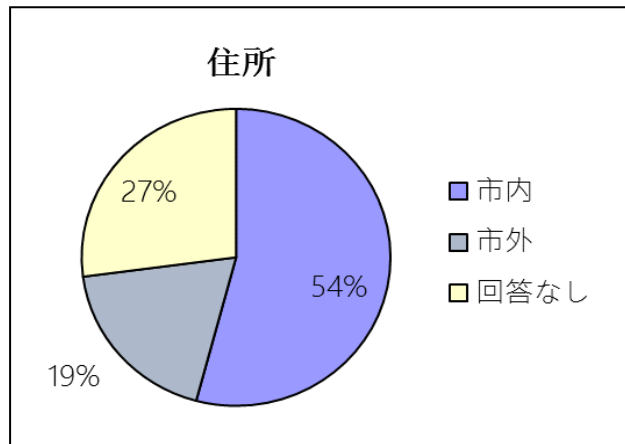
### Ⅲ 議会報告会についてのアンケートの結果

61人の参加者・傍聴者のうち、48人の方々からアンケートにご協力をいただきました。ありがとうございました。

#### 1. 参加者の住所・年齢・性別・職業

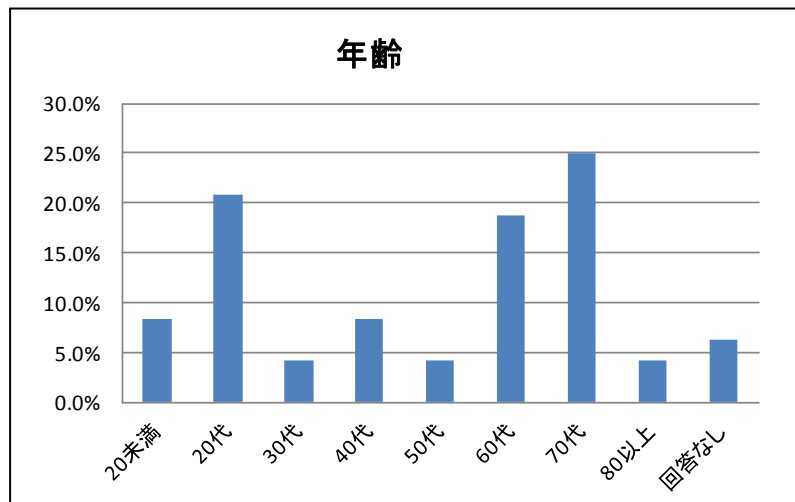
##### ①住所

- ・市内 26人
- ・市外 9人
- ・回答なし13人



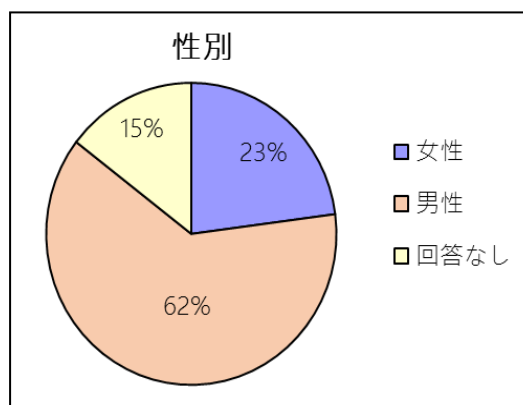
##### ②年齢

- ・20歳未満 4人
- ・20代 10人
- ・30代 2人
- ・40代 4人
- ・50代 2人
- ・60代 9人
- ・70代 12人
- ・80歳以上 2人
- ・回答なし 3人



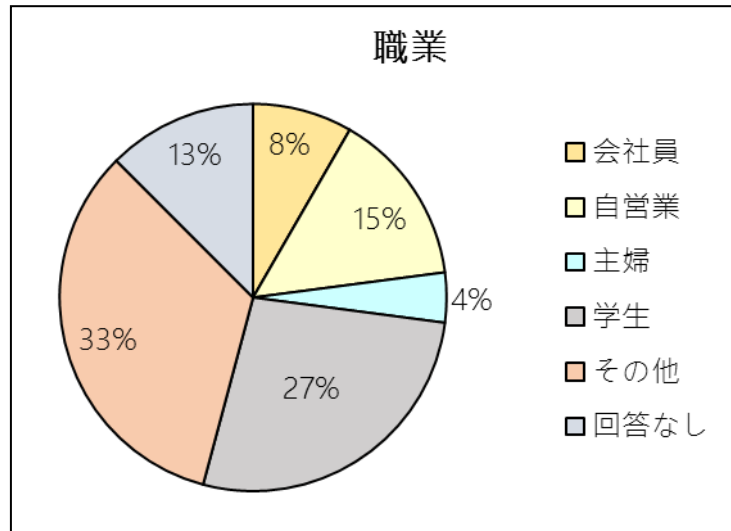
##### ③性別

- ・女性 11人
- ・男性 30人
- ・回答なし 7人



#### ④職業

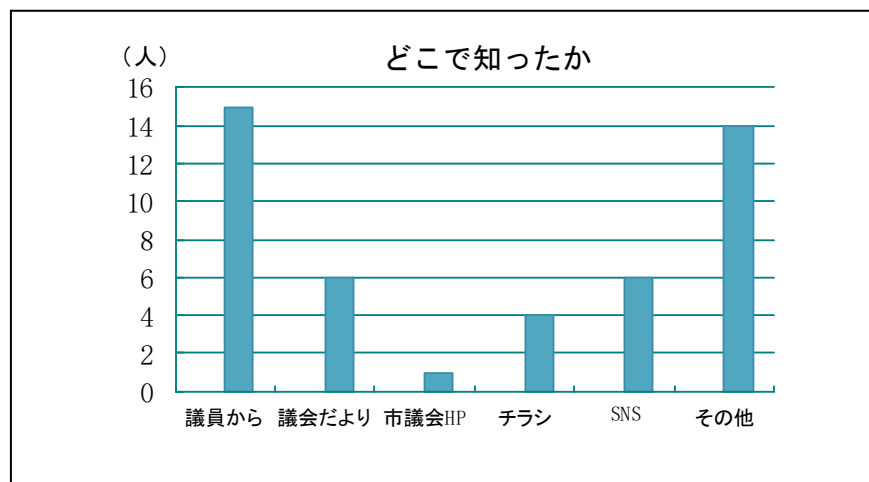
- ・会社員 4人
- ・公務員 0人
- ・自営業 7人
- ・主婦 2人
- ・学生 13人
- ・その他 16人
- ・回答なし 6人



## 2. 議会報告会の情報はどこで知りましたか

(複数回答)

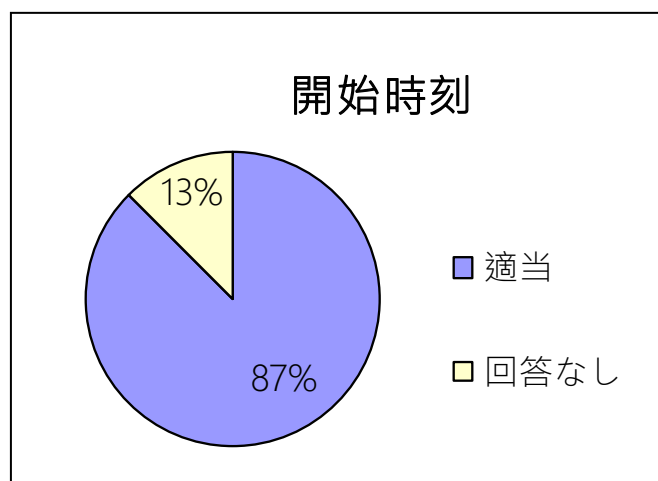
- ・議員から 15人
- ・議会だより 6人
- ・市議会HP 1人
- ・チラシ 4人
- ・SNS 6人
- ・その他 16人



## 3. 開始時刻・会議時間について

### ①開始時刻

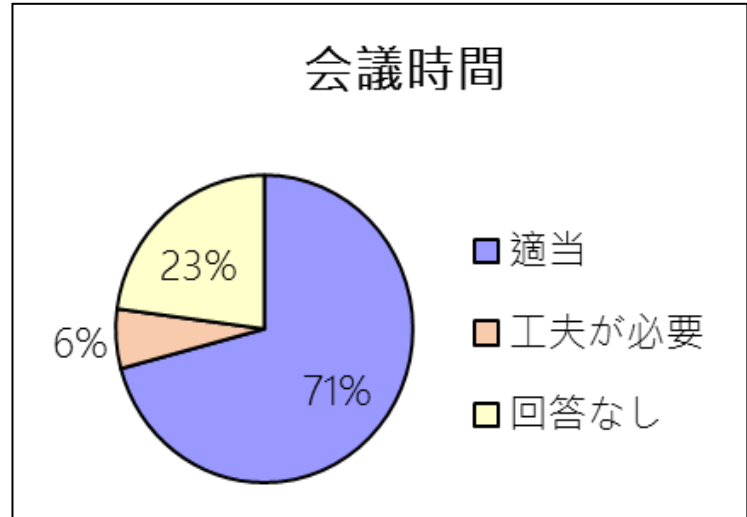
- ・適当 42人
- ・工夫が必要 0人
- ・回答なし 6人



## ②会議時間

- ・ 適当 34人
- ・ 工夫が必要 3人
- ・ 回答なし 11人

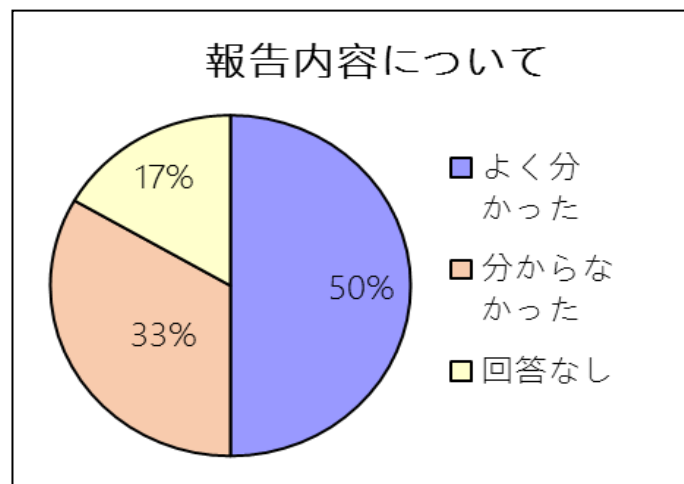
※必要な工夫として、  
○議会報告を後半に  
○第1部が短い、不十分  
とのご意見をいただきました。



## 4. 報告内容について

- ・ よくわかった 24人
- ・ 分からなかった 16人
- ・ 回答なし 8人

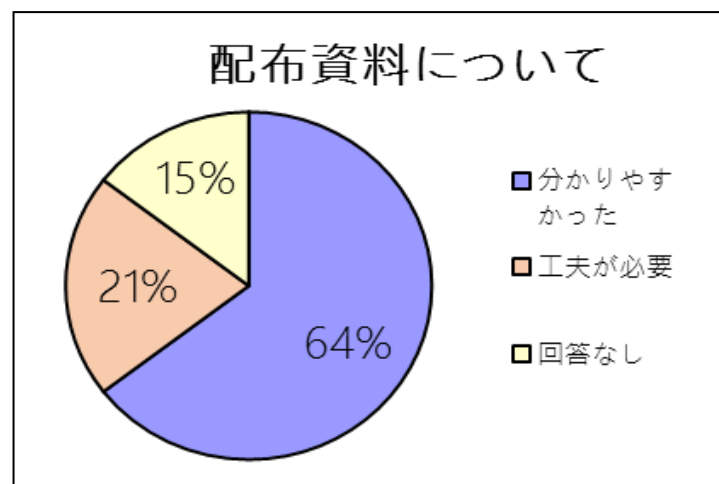
※工夫すべき点として、  
○説明がわかりにくい  
○内容に沿ったアジェンダを  
○資料に基づいた話を  
○もう少し時間と質疑応答を  
○説明と資料をリンクして  
○問題点を特化して  
○修正の問題点を具体的に  
○話が一方的  
とのご意見をいただきました。



## 5. 配布資料について

- ・ 分かりやすかった 31人
- ・ 工夫が必要 10人
- ・ 回答なし 7人

※工夫すべき点として、  
○具体例を挙げる  
○論点にも議案番号を  
○口頭説明と資料をリンクして  
○紹介が一般的  
○時間が少ない  
○論点がわからない  
○口頭説明の資料を  
とのご意見をいただきました。



## 6. ワークショップについて

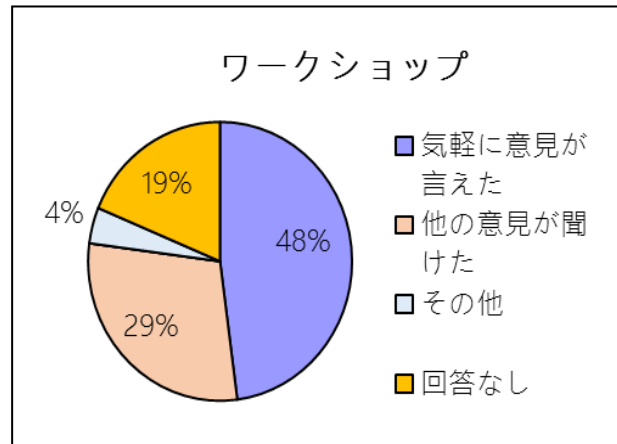
- ・ 気軽に意見が言えた 23人
- ・ 他の意見が聞けた 14人
- ・ 意見が言いにくかった 0人
- ・ その他 2人
- ・ 回答なし 9人

※意見として

○聞こえにくかった

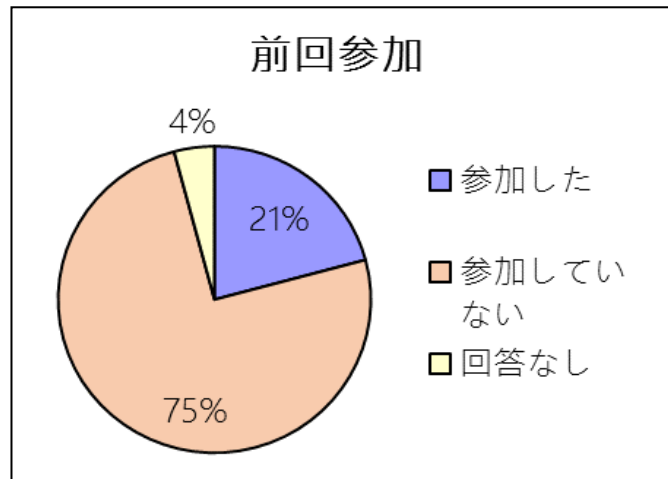
○大変良かった

○皆さん積極的に発言していた  
とのご意見をいただきました。



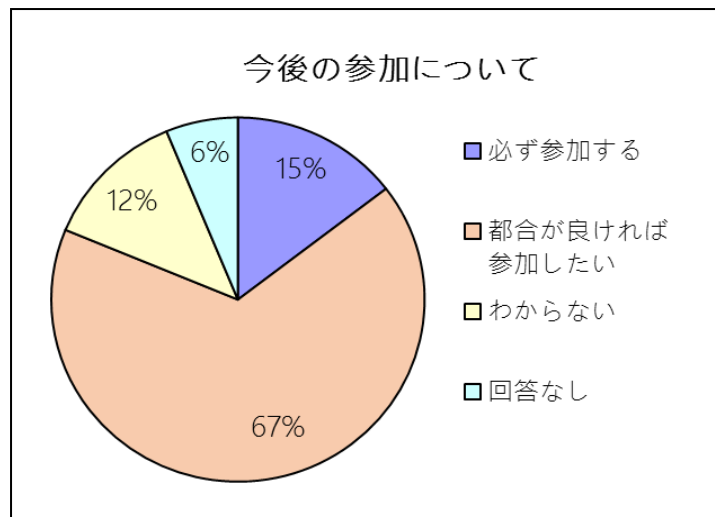
## 7. 前回の参加について

- ・ 参加した 10人
- ・ 参加していない 36人
- ・ 回答なし 2人



## 8. 今後の参加について

- ・ 必ず参加する 7人
- ・ 都合が良ければ参加したい 32人
- ・ あまり参加したいと思わない 0人
- ・ 参加しない 0人
- ・ わからない 6人
- ・ 回答なし 3人



## 9. その他（意見・要望など）について

（自由記入）

「富雄川沿いの整備。丸山古墳と道の駅をつなぐ遊歩道、共通の駐車場等の具体化。ごみ処理施設の広域化問題について」

「市民の意見を聞いてもらえる場はとても良い」

「いつもありがとうございます。これからもよろしくお願いします。」

「今回の意見がきちんと通っているのかを知りたい」

「初めて出席したが楽しかった」

「まちづくりのテーマは広すぎる。今日の意見はどう生かされるのか」

「議員のネームプレートは避けるべき」

「ワークショップに参加できない方にも発言の機会がほしい」

「もう少し詳しく聞きたかった。以前の方がよかった」

「ちゃんとこれまでの委員会ごとの報告等をするべき。ワークショップでなきゃだめなのか」

「ワールドカフェの傍聴って何？聞いたことない。せっかく同席しているのに」

「議会報告とは別に設定すべき。別々に長時間化する」

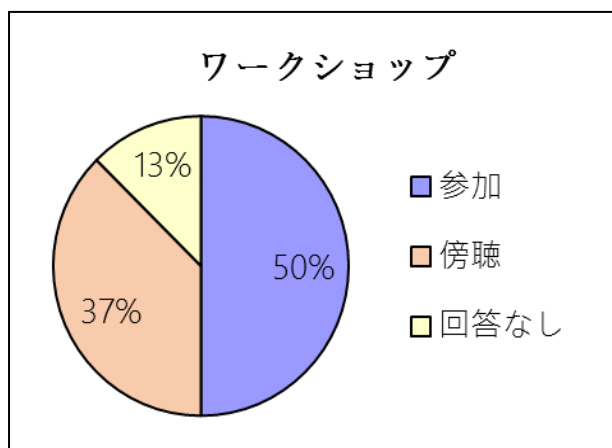


## IV ワークショップについてのアンケートの結果

### 1. ワークショップの参加・傍聴

①

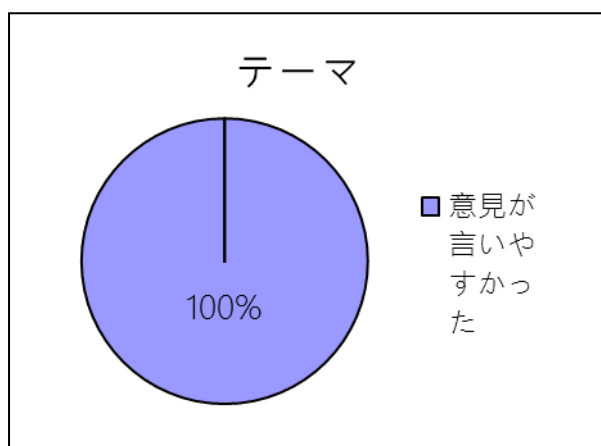
- ・ワークショップ 24人
- ・傍聴 18人
- ・回答なし 6人



### 2. ワークショップに参加して

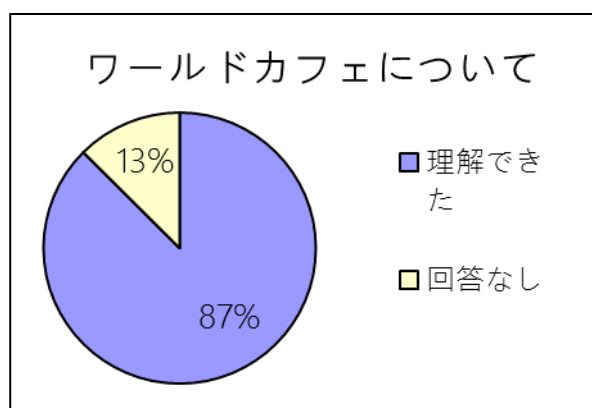
②-1 テーマについて

- ・意見が言いやすかった 24人
- ・よく分からなかった 0人
- ・回答なし 0人



②-2 ワールドカフェ方式について

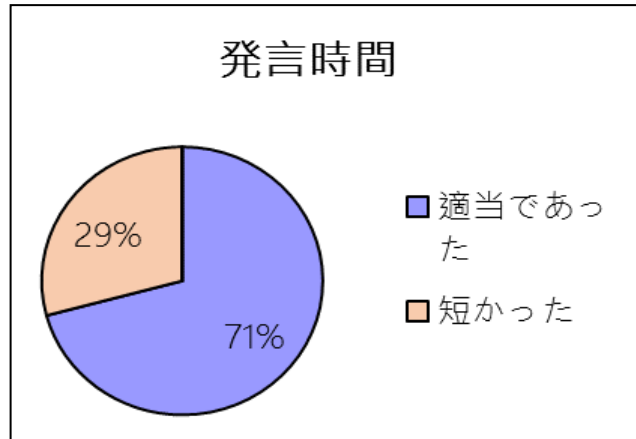
- ・理解できた 21人
- ・分からなかった 0人
- ・回答なし 3人





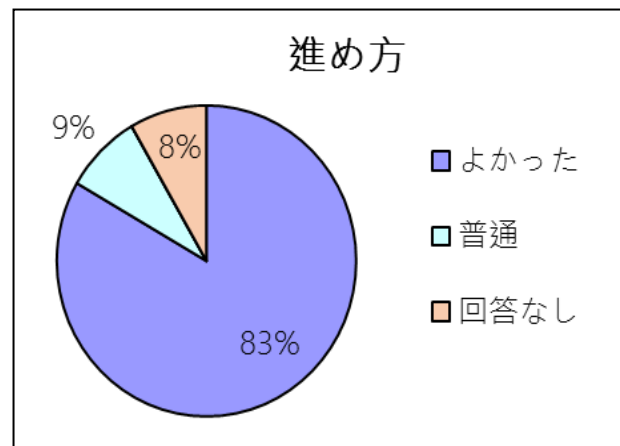
②-3 発言時間について

- ・長かった 0人
- ・適当であった 17人
- ・短かった 7人
- ・分からない 0人



②-4 会話（ホスト）の進め方

- ・よかった 20人
- ・普通 2人
- ・もう一つだった 0人
- ・分からない 0人
- ・回答なし 2人

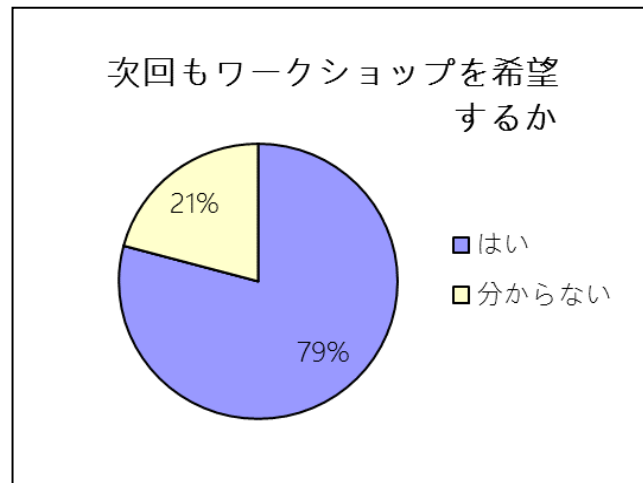


②-5 ワークショップに参加を希望された理由について（自由意見）

- 「大学の先生に誘われた」
- 「新しい意見を聞きたかった」
- 「ワークショップは非常に参考になる意見が多く出るので参考になる」
- 「奈良市民の意見を聞きたいとともに、若者としての意見を言いたかった」
- 「奈良市に住む方や、そうでない人とお話をするいい経験になる」
- 「大学で教員の勧めにより参加した」
- 「まちづくりを具体的に知れた。考えられた」
- 「奈良のまちづくりに興味があった」
- 「日々勉強！他の意見を聞くことが自分のレベルUPにもなるから」
- 「参加者が何を考えているのか知りたかった」
- 「議会報告に行ってほしいと依頼があったから」
- 「議員に誘われて」

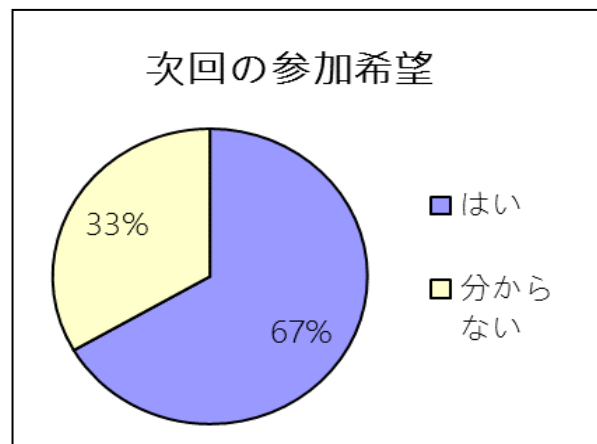
②ー6 次回もワークショップの開催を希望しますか

- ・ はい 19人
- ・ いいえ 0人
- ・ 分からない 5人



②ー7 次回も参加したいですか

- ・ はい 16人
- ・ いいえ 0人
- ・ 分からない 8人



②ー8 その場合、希望するテーマについて（自由意見）

- 「意見交換は時間が少ない。もう少し時間をかけたらどうか」
- 「まちづくりで良いと思う」
- 「奈良市の観光誘致について」
- 「奈良市が現在行っている政策についての問題点、改善点について。より深く討論する必要があると思うので」
- 「市民以外の意見も聞きたい」
- 「まちづくり」
- 「奈良市の福祉、介護、医療について」
- 「奈良市の将来。具体的なテーマに絞る」

## ②-9 感想（自由意見）

「たくさんの意見を聞くことができ、大変勉強になった。これを生かして奈良市が良くなって行けたらと感じた」

「有意義な報告会でした」

「とても楽しかった。意見を言いやすい環境だった」

「話を聞いていると自分も意見が湧いてきた。楽しく貴重な経験になった」

「他の貴重な意見も聞けてよかった。まとめを聞くと話題の共通点を感じた」

「改めて奈良のまちづくりを考えることができた」

「楽しかった。次は市長も参加してもらいたい」

「大きなテーマだけでなく、子育てや自治会など小さいテーマに分けて集中しては」

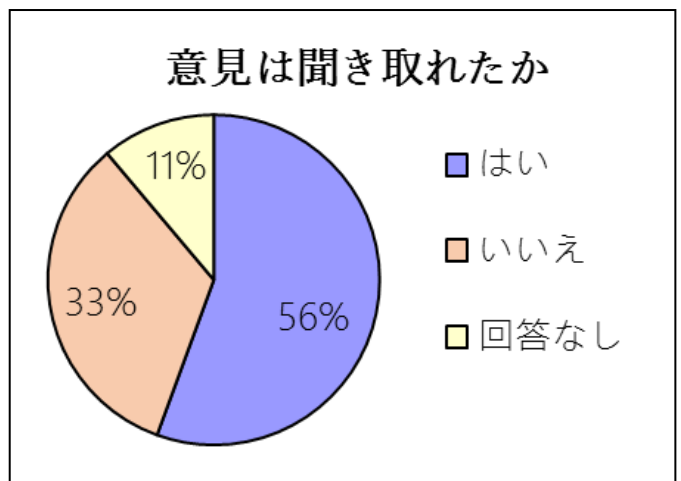
「複数部屋を用意した方が良いのでは。小さい声だと聴きとりにくい面がある」

「テーマを絞らないと散漫になる。常識的な意見しか出ない」

## 3. ワークショップを傍聴して

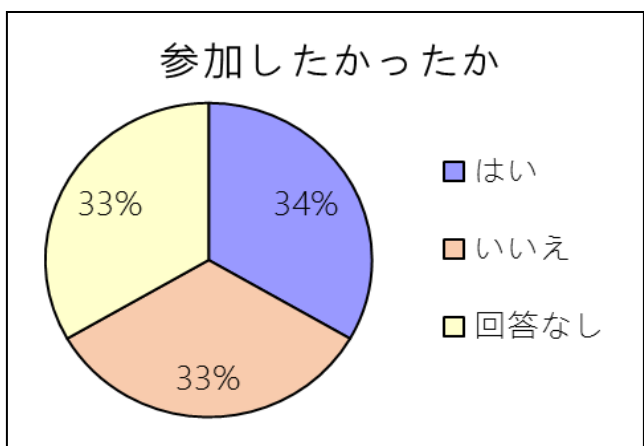
### ③-1 意見は聞き取れましたか

- ・ はい 10人
- ・ いいえ 6人
- ・ 回答なし 2人



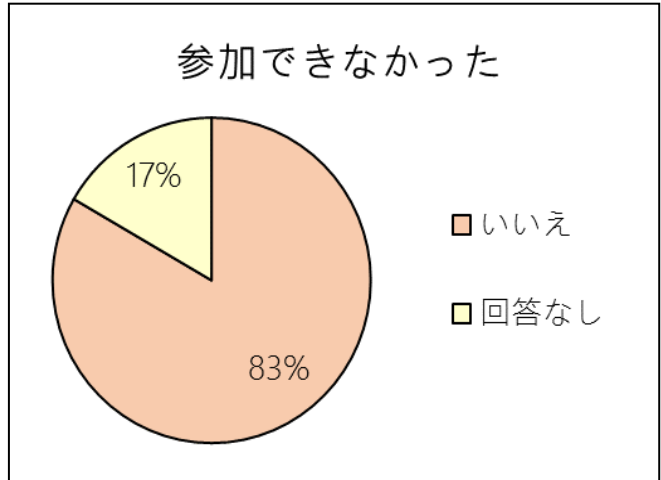
### ③-2 ワークショップに参加したかったか

- ・ はい 6人
- ・ いいえ 6人
- ・ 回答なし 6人



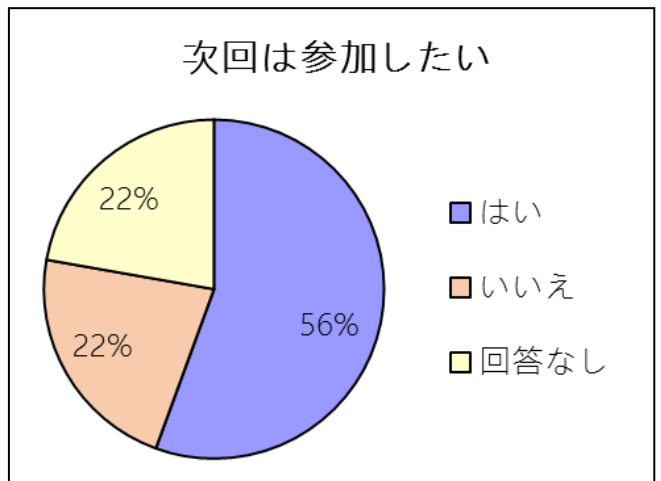
③-3 申し込んだが定員があり参加できなかった

- ・はい 0人
- ・いいえ 15人
- ・回答なし 3人



③-4 次回は参加したい

- ・はい 10人
- ・いいえ 4人
- ・回答なし 4人

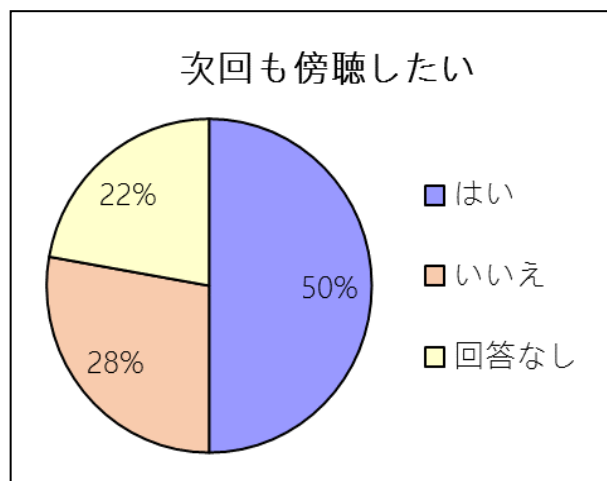


③-5 希望するテーマ（自由意見）

- 「地域の環境問題（道の駅と丸山古墳の関連性）。ごみ処理広域化問題」
- 「自由意見の時間とテーマを決めて時間を作ったらどうか」
- 「子どもの遊び場所」
- 「問題と課題と解決策をいっしょくたにすると話が混乱するので分けた方が良い」
- 「労働（賃金、雇用、企業誘致、女性）、高齢者と若年層」
- 「教育、バリアフリー」
- 「ワールドカフェにまちづくりはありがちで取り上げやすく良いが、財政健全化（税込UP）みたいな一般市民で手の出しにくいテーマ設定（消えた200億円）」

### ③－6 次回も傍聴したい

- ・ はい 9人
- ・ いいえ 5人
- ・ 回答なし 4人



### ③－7 感想（自由意見）

「学生にとって貴重な経験の機会となった。多くの方の意見を聞かせていただき、今後の学びに生かしたい」

「財政健全化、工業団地建設等について意見交換したい」

「発言できる場所があるのは良いこと。多くの方の参加を。傍聴者も発言できれば。」

「大変有意義でいろんな意見が聞けて面白かった」

「ルールを守らない人（時間オーバー・オブジェクトを持たない・否定する）が多かった」

「参加者の年齢層が学生以外では高齢者が多かった。子育て世代が参加できる取り組みを」

「いろいろな意見が聞けてよかった」

「聞き取れないし、発言機会がないのは聞く気になれない。もっと席とグループを増やせば良いこと。なぜ、こんな少ない定数設定にしたのか疑問」

当日参加・傍聴いただいた皆様、アンケートにご協力いただいた皆様、貴重なご意見ありがとうございました。

